見附市
MITSUKE CITY

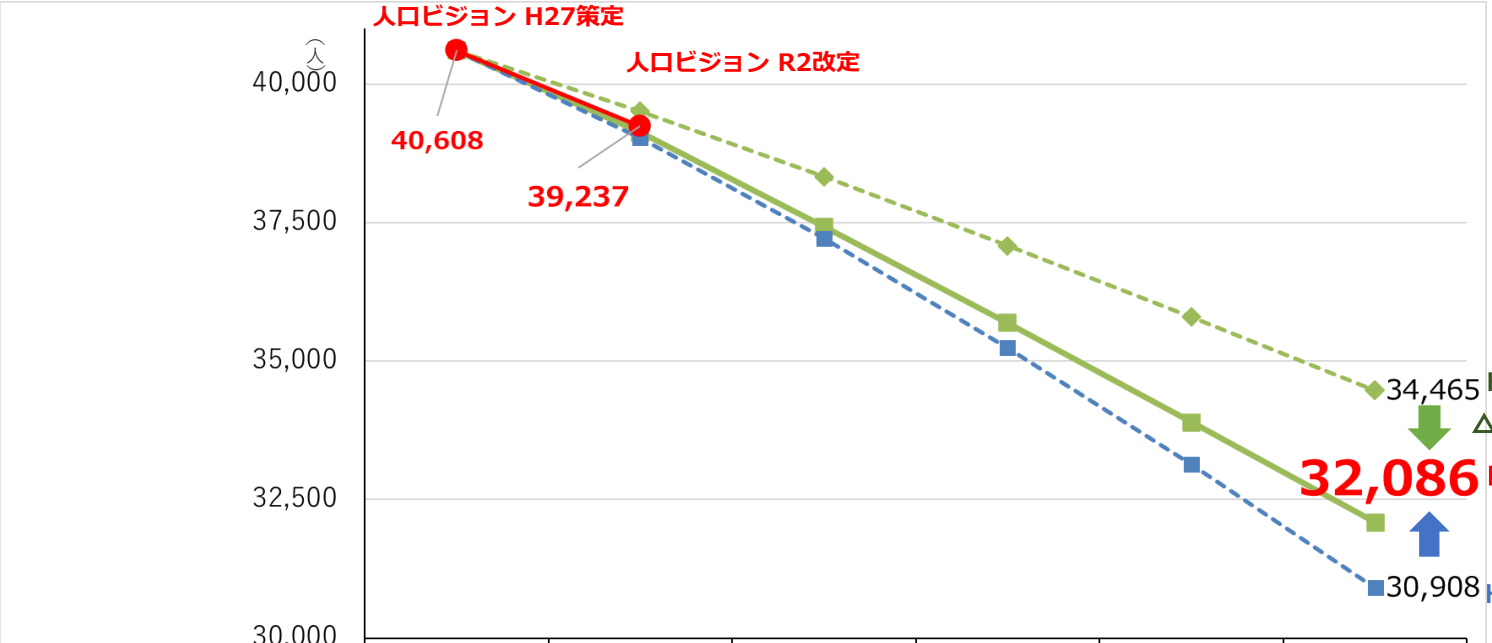
見附市人口ビジョン
達成状況と今後の方針

まちづくり総合会議　令和7年1月31日

見附市 企画調整課 総合政策室

見附市人口ビジョンについて

見附市の人口の現状を分析し、課題を明確にするとともに将来の展望を描くため、平成27年度に「見附市人口ビジョン」策定。将来の人口、出生数、社会動態等に関する令和22（2040）年までの目標値を設定し、人口減少の抑制に向けた取組や進捗評価を実施しています。



	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
人口ビジョン（R2年改定）	40,608	39,128	37,426	35,692	33,889	32,086
社人研推計（H30公表）	40,608	39,030	37,213	35,239	33,129	30,908
人口ビジョン（H27年策定）	40,603	39,510	38,327	37,081	35,791	34,465
実際の人口	40,608	39,237				

次期総合計画策定向けた人口ビジョンの改定について

- 第5次総合計画 前期基本計画、第1期総合戦略の策定にあたり、平成25年公表の社人研※の推計値をもとに、平成27年度に見附市人口ビジョンを策定。
- 第5次総合計画 後期基本計画・第2期総合戦略の策定にあたり、 平成30年に公表された社人研の推計値をもとに、これまでの人口ビジョン達成状況を勘案し、令和2年度に下方修正。

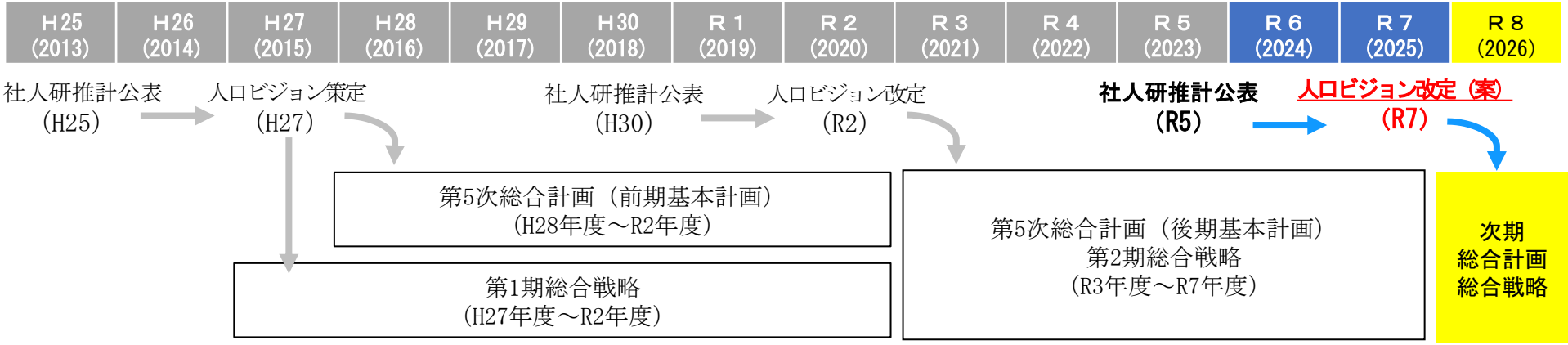
※社人研…国立社会保障・人口問題研究所の略。国や各地域の将来人口の推計等を行う国の研究機関。

１ これまでの人口ビジョンの達成状況を勘案して

２ 令和５年に公表された最新の社人研推計を勘案して

３ 令和８年度から始まる次期総合計画策定に向けて

⇒令和７年度に人口ビジョンの改定を行っていきたい



1　人口ビジョンの達成状況（全体−表）

人口ビジョン達成状況（社人研推計等との比較）

人口数値引用元：H27、R2は国勢調査、他は新潟県人口移動調査結果（毎年10月～翌9月）

	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	２年	３年	４年	５年	６年
実際の人口	40,608	40,402	40,048	39,801	39,389	39,237	38,889	38,447	37,995	**37,445**
人口ビジョン H27策定、R2改定	40,603	40,385	40,167	39,949	39,731	39,510	38,788	38,488	38,108	**37,768**
人口ビジョン比	5 ○	17 ○	△ 119 ×	△ 148 ×	△ 342 ×	△ 273 ×	101 ○	△ 41 ×	△ 113 ×	**△ 323** **×**
社人研推計 H27～R2：H25推計 R3～R6：H30推計	40,553	40,247	39,941	39,635	39,329	39,020	38,666	38,303	37,940	**37,577**
社人研比	55 ○	155 ○	107 ○	166 ○	60 ○	217 ○	223 ○	144 ○	55 ○	**△ 132** **×**

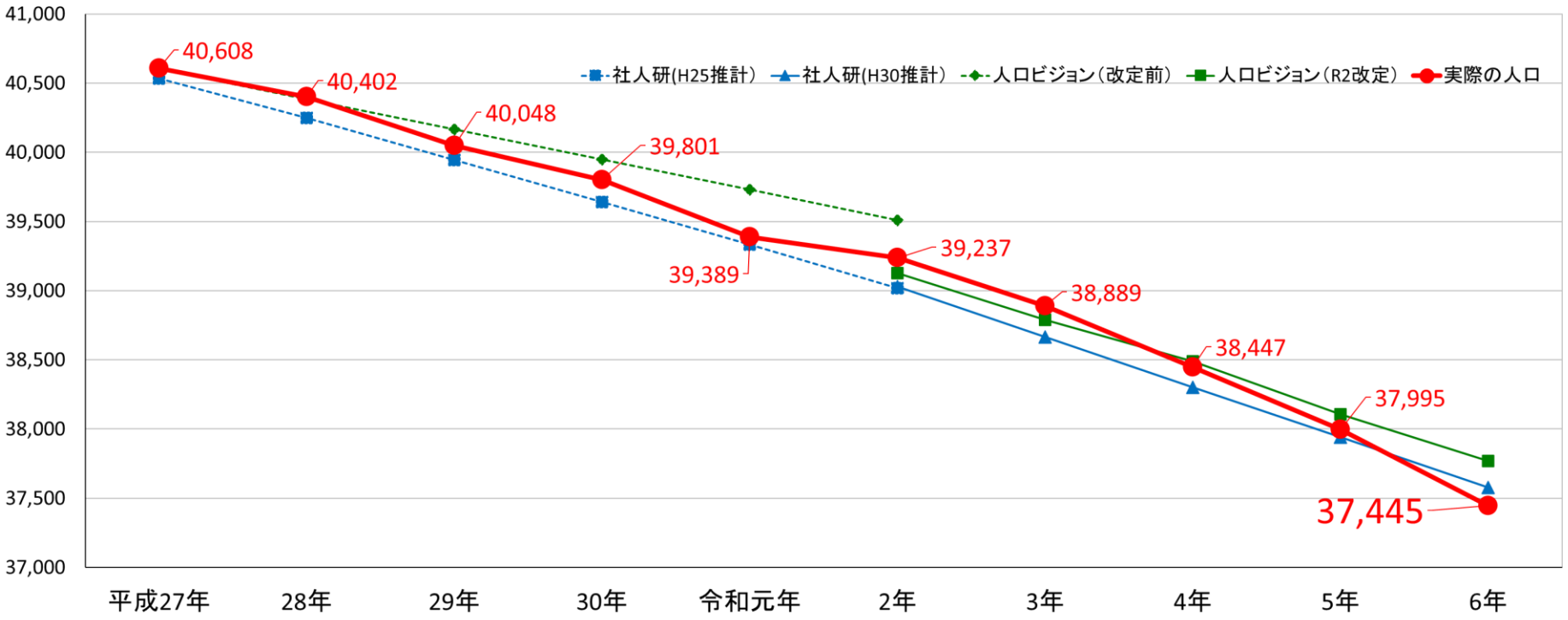
人口動態の前年比較

引用元：新潟県人口移動調査結果（毎年10月～翌9月）

	出生	死亡	自然動態	転入	転出	社会動態	合計
令和6年	190	627	△437	837	950	△113	△550
令和5年	231	612	△381	923	994	△71	△452
R6－R5	△41	15	△56	△86	△44	△42	△98

1　人口ビジョンの達成状況（全体−グラフ）

人口ビジョン策定以降の人口推移



【令和６年の達成状況】

- 実際の人口は37,445人となり、前年よりも550人（自然動態△437＋社会動態△113）減少しました。
- 人口ビジョン目標値（R6:37,768人）と比較すると△323人であり、人口ビジョンの目標値を下回りました。
- 社人研推計値（R6:37,577人）と比較すると△132人であり、社人研推計値を下回りました。

【全体の傾向】

- 令和２年に人口ビジョンの改定を行いましたが、再び人口ビジョン推計値との乖離幅が広がっており、令和６年で人口ビジョンとの差は大きく開きました。
- これまで社人研推計値は上回っていたものの、令和６年で初めて社人研推計値を下回りました。

1　人口ビジョンの達成状況（自然動態）

出生数の推移

引用元：新潟県人口移動調査結果

	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
実績値	306	289	260	252	234	238	224	221	231	190
人口ﾋﾞｼﾞｮﾝ目標値（H27策定、R2改定）	300	300	300	300	300	300	250	250	250	250
乖離	6	△ 11	△ 40	△ 48	△ 66	△ 62	△ 26	△ 29	△ 19	△ 60

- 令和６年の出生数は190となり、前年より41人減少、目標値より△60人となり、出生数は大きく減少しました。
- 平成27年の年306人と比較すると、令和６年には年190人まで下降しており、改善が必要となっています。

合計特殊出生率

引用元：新潟県福祉保健年報

※合計特殊出生率は、各年度の10月頃に前年度の数値を県が公表（令和6年は令和7年10月頃に公表）

	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
見附市	1.50	1.41	1.38	1.32	1.34	1.34	1.31	1.28	1.33	※
新潟県	1.44	1.43	1.41	1.41	1.38	1.33	1.32	1.27	1.23	※
県との差（市－県）	＋0.06	△ 0.02	△ 0.03	△ 0.09	△ 0.04	＋0.01	△ 0.01	＋0.01	＋0.10	※
国	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.26	1.20	※
国との差（市－国）	＋0.05	△ 0.03	△ 0.05	△ 0.10	△ 0.02	＋0.01	＋0.01	＋0.02	＋0.13	※

- 令和５年の出生数が上昇したこともあり、令和５年の合計特殊出生率は＋0.05ポイントとなり、R元年以来の上昇。
- 見附市の令和５年合計特殊出生率は、県と比較して＋0.10ポイント、国と比較して＋0.13ポイントとなり、ここ数年で国・県よりも大きく差をつけて上昇しました。

1　人口ビジョンの達成状況（社会動態）

２０歳代の社会動態

引用元：新潟県人口移動調査結果（令和6年数値は見附市市民税務課集計）

	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
実績値	△ 166	＋ 7	△ 103	△ 51	△ 57	△ 52	△ 85	△ 103	△ 69	△ 108
人口ﾋﾞｼﾞｮﾝ目標値	△ 40	△ 40	△ 40	△ 40	△ 40	△ 40	△ 50	△ 50	△ 50	△ 50
乖離	△ 126	＋ 47	△ 63	△ 11	△ 17	△ 12	△ 35	△ 53	△ 19	△ 58

➢ 20代の社会動態は、転入322人、転出430人、社会動態（転入－転出）は△108人（目標値との差△58人）となりました。

３０歳代の社会動態

引用元：新潟県人口移動調査結果（令和6年数値は見附市市民税務課集計）

	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
実績値	△ 17	△ 16	＋ 1	＋ 27	△ 18	＋ 32	＋ 31	△ 28	＋ 11	△ 19
人口ﾋﾞｼﾞｮﾝ目標値	＋ 55	＋ 55	＋ 55	＋ 55	＋ 55	＋ 55	＋ 20	＋ 20	＋ 20	＋ 20
乖離	△ 72	△ 71	△ 54	△ 28	△ 73	△ 23	＋ 11	△ 48	△ 9	△ 39

➢ 30代の社会動態は、転入179人、転出198人、社会動態（転入－転出）は△19人（目標値との差△39人）となりました。

２０＋３０歳代の社会動態

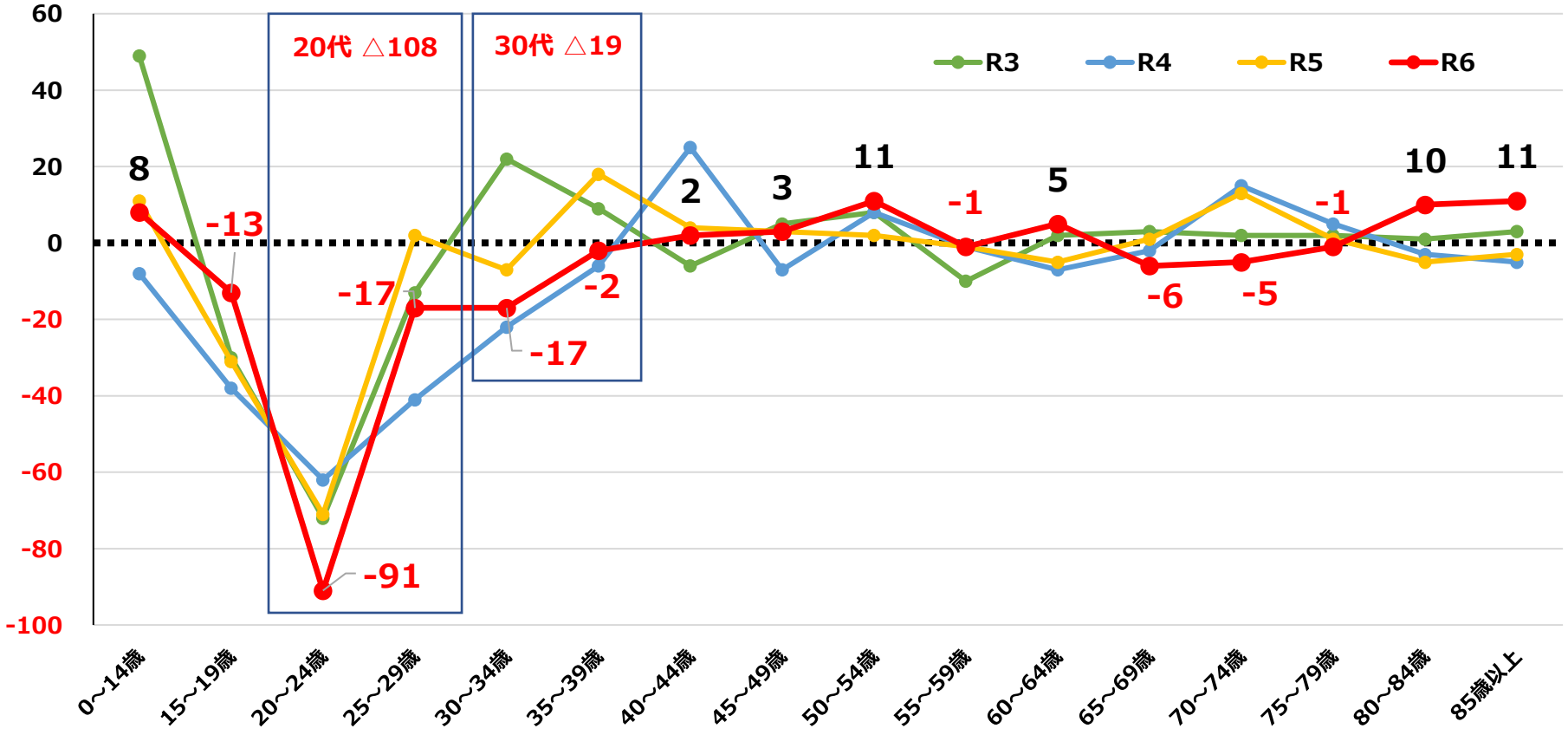
	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
実績値	△ 183	△ 9	△ 102	△ 24	△ 75	△ 20	△ 54	△ 131	△ 58	△ 127
人口ﾋﾞｼﾞｮﾝ目標値	15	15	15	15	15	15	△ 30	△ 30	△ 30	△ 30
乖離	△ 198	△ 24	△ 117	△ 39	△ 90	△ 35	△ 24	△ 101	△ 28	△ 97

➢ 20～30代の社会動態は、転入501人、転出628人、社会動態（転入－転出）は△127人（目標値との差△97人）となりました。

1　人口ビジョンの達成状況（年齢階層別）

見附市の年齢階層別の人口移動状況

引用元：新潟県人口移動調査結果（令和6数値は見附市市民税務課集計）

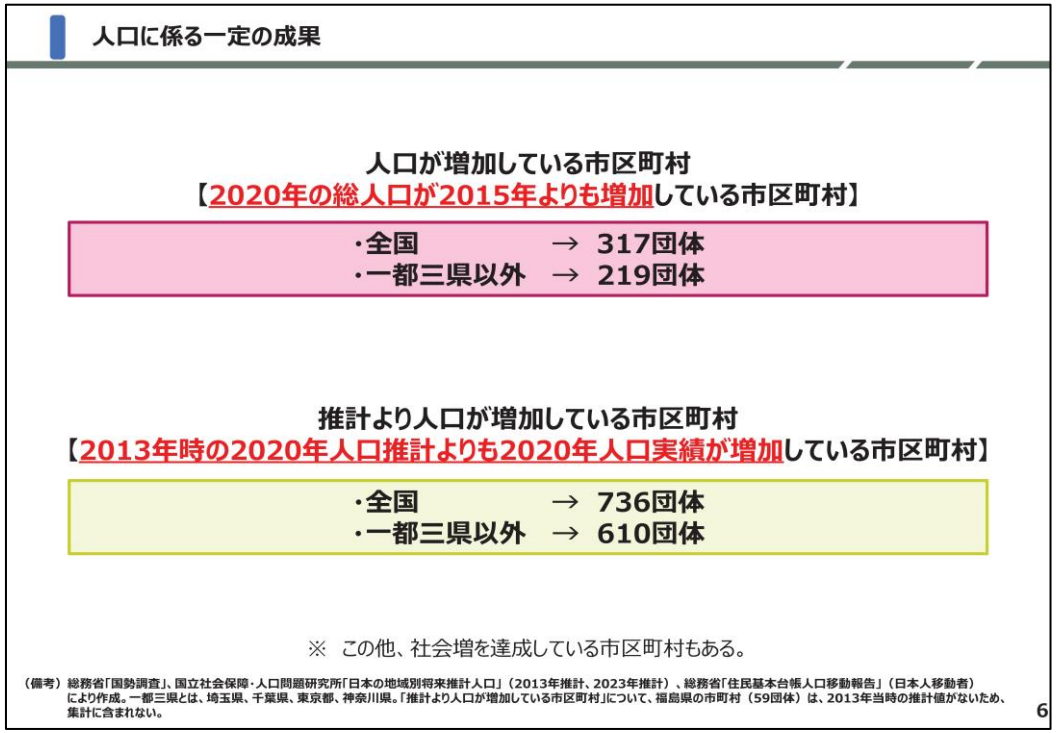


人口ビジョンの達成に向けては、20歳代から30歳代の社会動態改善が必要である中、令和６年では結果を出すことができませんでした。引き継ぎ、若者世代の社会動態を改善し、見附市を移住・定住先として選んでいただき、出生数の増加へとつなげるまちづくりが必要です。

1　人口ビジョンの達成状況（国や他自治体との比較）

国や他自治体の状況

引用元：第１回新しい地方経済・生活環境創生会議　これまでの地方創生の成果と課題（令和6年11月29日）
（内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局）



新潟県内自治体で達成状況

１町（聖籠町）のみ

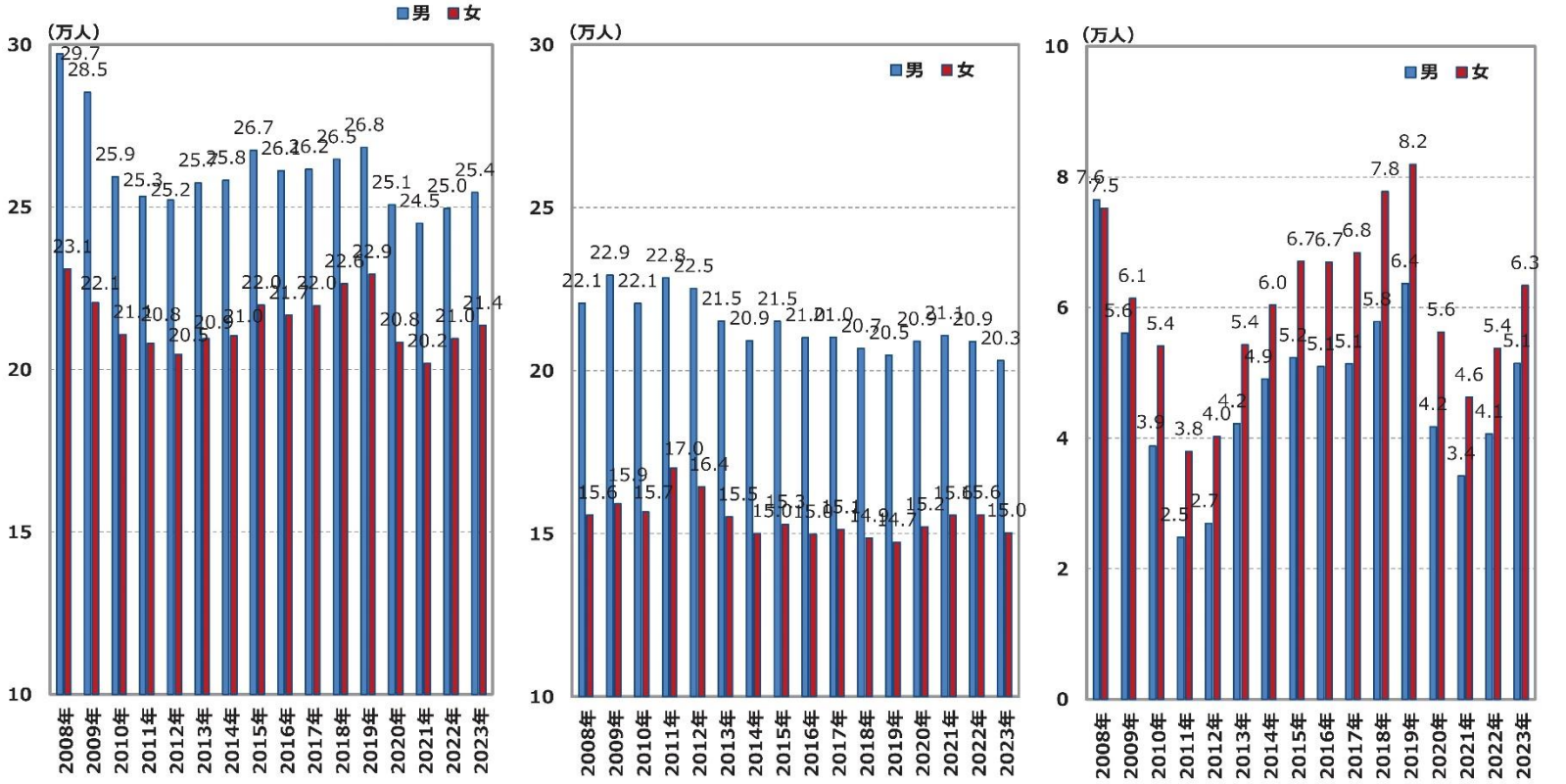
６市（胎内、新発田、新潟、燕、見附、長岡）、
３町（出雲崎、湯沢、聖籠）
１村（粟島浦）

- 平成27年にまち・ひと・しごと創生法が施行。以降ほぼ全ての地方自治体で見附市と同様に人口ビジョンの策定し、各種地方創生施策の推進により人口減少に歯止めをかけるという目標を設定。
- 地方創生の取組が本格化して10年が経過した中、約1,700ほどある全国自治体において、ほとんどの自治体で人口増加は実現できず、**半分以上の自治体では、地方創生スタート時の推計よりも速いペースで人口減少が進んでいる**。
- 国（内閣府・内閣官房）としても『**国全体で見たときに人口減少や東京圏への一極集中などの大きな流れを変えるには至っておらず、地方が厳しい状況にあることを重く受け止める必要がある**』とこれまでの地方創生の取組を評価。

1　人口ビジョンの達成状況（国や他自治体との比較）

人口移動の状況（東京圏・男女別）

○　近年では、東京圏の転入者数・転出者数は男性が多く、転入超過数は女性の方が多い。



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」（日本人移動者）を基に作成。

24

引用元：第１回新しい地方経済・生活環境創生会議　これまでの地方創生の成果と課題（令和6年11月29日）
（内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局）

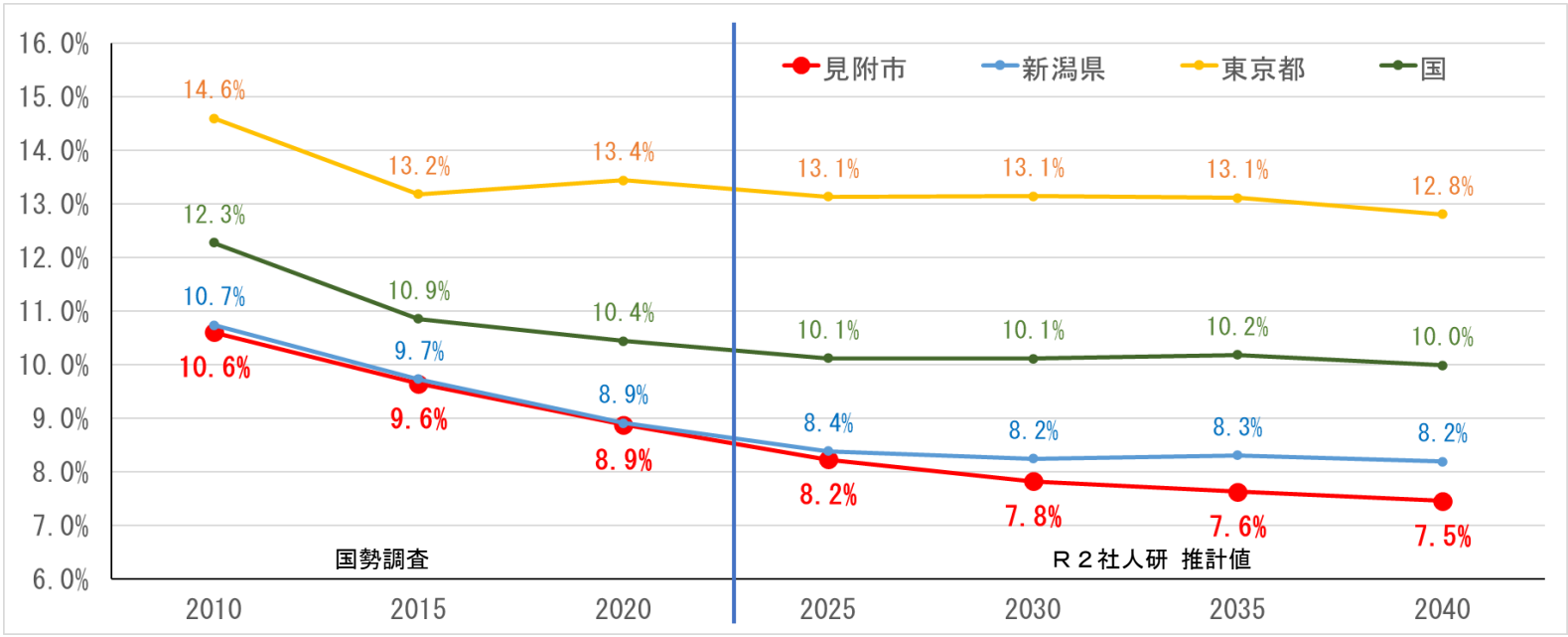
1　人口ビジョンの達成状況（国や他自治体との比較）

20～39歳女性人口の推移

引用元：国勢調査（H22、H27、R2）/R2社人研推計値（R7、R12、R17、R22）

	H22	H27	R2	R7	R12	R17	R22
見附市	4,440	3,916	3,483	3,089	2,780	2,551	2,331
新潟県	254,982	224,172	196,118	174,786	162,796	154,731	143,408
東京都	1,920,189	1,781,061	1,887,225	1,864,809	1,885,665	1,895,243	1,857,215
国	15,718,884	13,793,716	13,165,913	12,468,461	12,147,544	11,872,095	11,272,055

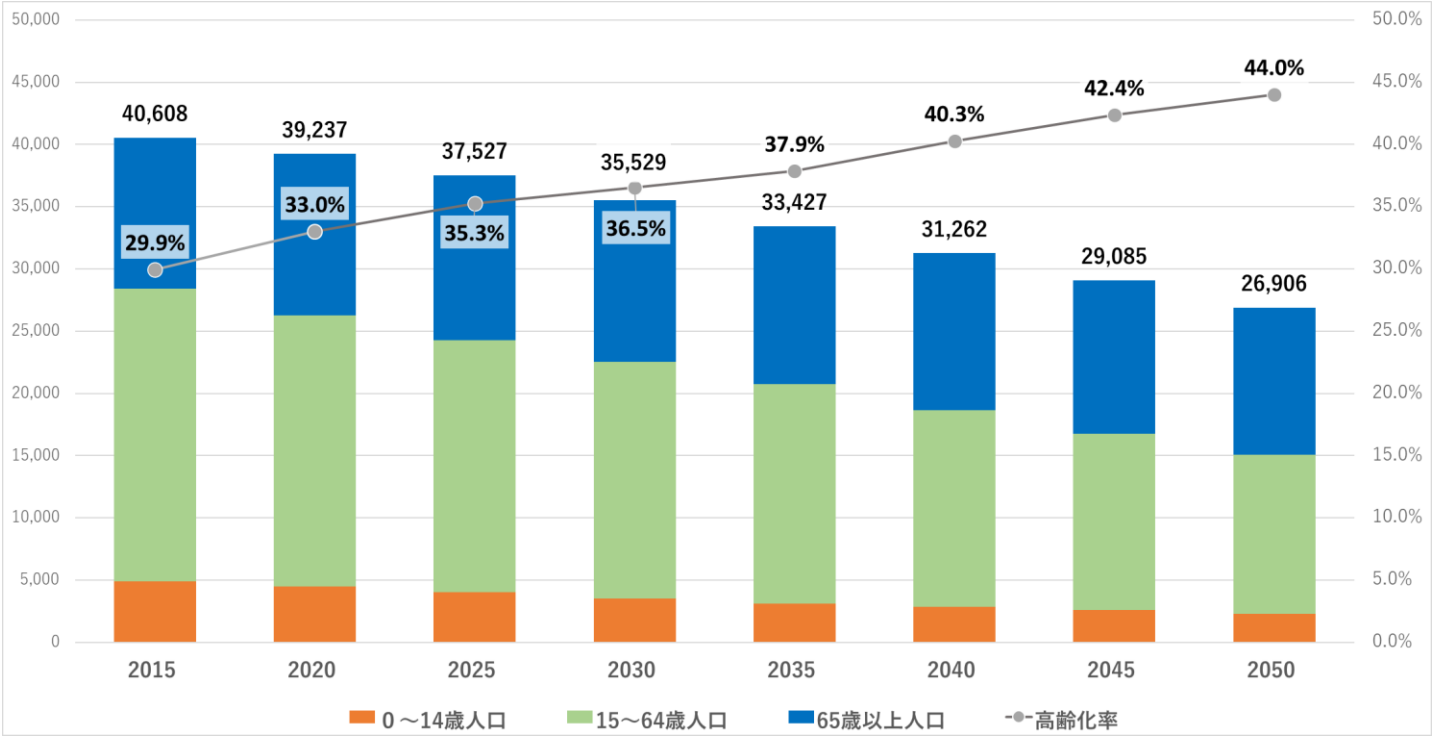
＜20～39歳女性人口（人口比率）の推移＞



人口動態の改善にあたっては「若者・女性の人口減少・首都圏流出」が見附市を含め、多くの地方自治体で課題となっている。地域間・男女間の賃金格差や、様々な場面にあるアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）などにより、若者・女性の地方離れが進行していることが考えられ、今後は、若者や女性にも選ばれる職場や暮らしを実現する政策の強化が必要となってくる。

2　令和５年 社人研推計値(1/2)

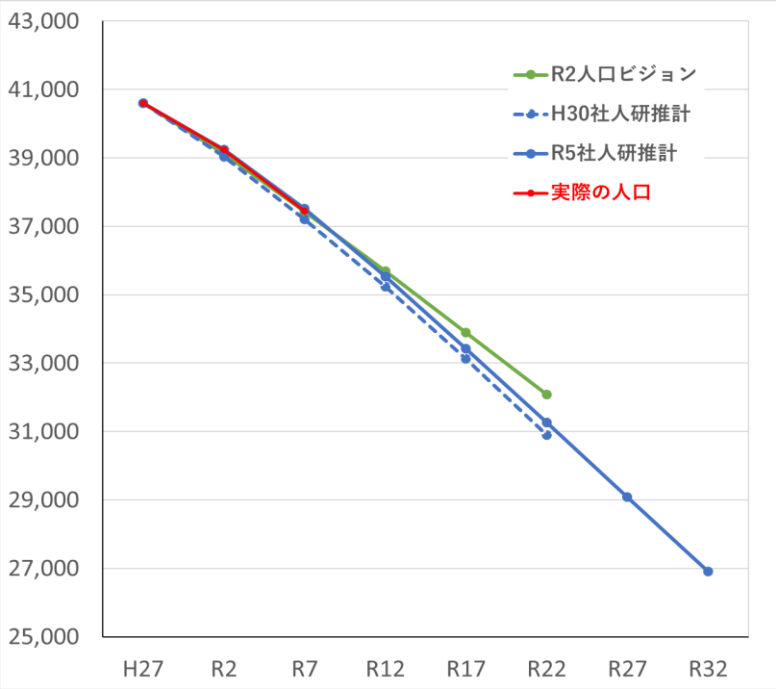
令和５年 社人研推計による見附市人口の将来推計



	H27（2015）	R2（2020）	R7（2025）	R12（2030）	R17（2035）	R22（2040）	R27（2045）	R32（2050）
令和５年 社人研推計	40,608	39,237	37,527	35,529	33,427	31,262	29,085	26,906
（内訳）0～14歳人口	4,906	4,500	4,035	3,493	3,098	2,829	2,580	2,308
比率	12.1%	11.5%	10.8%	9.8%	9.3%	9.0%	8.9%	8.6%
（内訳）15～64歳人口	23,491	21,785	20,259	19,060	17,673	15,837	14,181	12,755
比率	57.8%	55.5%	54.0%	53.6%	52.9%	50.7%	48.8%	47.4%
（内訳）65歳以上人口	12,157	12,952	13,233	12,975	12,656	12,597	12,324	11,843
比率	29.9%	33.0%	35.3%	36.5%	37.9%	40.3%	42.4%	44.0%

２　令和５年　社人研推計値(2/2)

これまでの人口ビジョン、推計値と比較



●これまでの人口ビジョン、推計値と比較

- 令和5年社人研推計（青実線）は、平成30年社人研推計（青点線）と比較すると若干改善。
- 令和2年人口ビジョン（緑）よりは厳しい推計となっている。
- 推計最終年であった令和22(2040)年以降も少子高齢化、人口減少は進行

●対象期間について

- 平成27年の人口ビジョン策定以来、推計の最終年を令和22（2040）年までとしていた
- 令和5年社人研推計値は、令和2年国勢調査を基礎数値として令和32（2050）年までの数値を公表

	H27（2015）	R2（2020）	R7（2025）	R12（2030）	R17（2035）	R22（2040）	R27（2045）	R32（2050）
Ｒ２人口ビジョン	40,608	39,128	37,426	35,692	33,889	32,086	推計値　未策定	
H30社人研	40,608	39,030	37,213	35,239	33,129	30,908		
Ｒ５社人研	40,608	39,237	37,527	35,529	33,427	31,262	29,085	26,906
実際の人口	40,608	39,237	37,445 ※R6数値(参考)	—	—	—	—	—

3 次期総合計画策定に向けて

人口ビジョン令和７年 改定案の方針

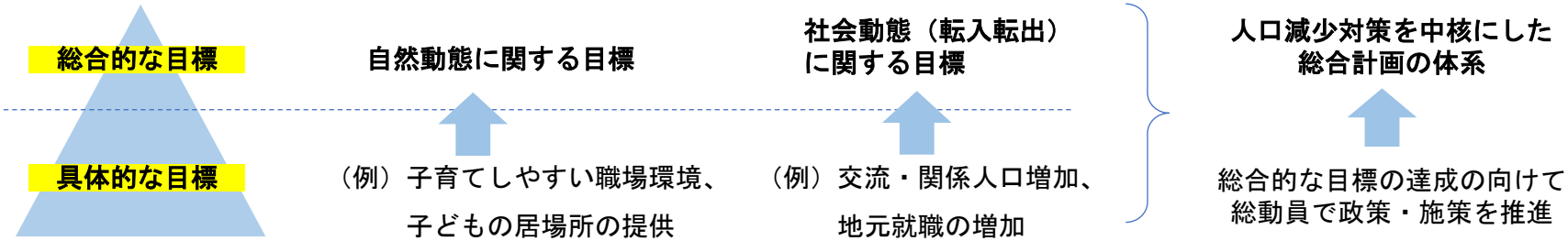
① 人口ビジョンの達成状況は厳しい状況。その要因を分析した上で、人口動態の改善に向けた**自然動態、社会動態の目標について再考**し、人口ビジョンの改定を行う必要がある。

② 人口減少対策をより強化していくためには、**見附市全体で人口減少問題に対する意識を共有**するとともに、**あらゆる分野、あらゆる人材を総動員**する必要がある。

③ 現総合計画では、自然動態、社会動態に関する目標値を政策分野ごとの目標値の１つとして設定していたが、次期総合計画においては、自然動態、社会動態に関する目標値を次期総合計画における各種目標よりも**一層上の“総合的な施策目標（仮称）”**としていく。

④ 平成27年の人口ビジョン策定から約10年経過しており、より長期的な視点に立つため、現在令和22（2040）年までとなっている**人口ビジョンの対象期間を延長**する必要がある。

（イメージ）



※具体的な人口ビジョンの改定案、目標案については、令和７年度のまちづくり総合審議会にて協議する予定です。